

エグゼクティブのための知的情報誌

AGORA

アゴラ
The Executive
Lifestyle
Magazine

7
July
2019

AGORA Special タイ

ヤマザキマリ
北都紀行

Travel in Japan 大分

坂に誘われて



JAPAN AIRLINES



世界最高ランク5スター獲得



from Kula, Maui

[United States of America]

エコなラッピング

Eco-Friendly
Gift Wrap

(左) サラ・スマスさん。(右) 爽やかな植物のデザイン。

○一五年に全米で初めて、スーパーなどのプラスチック袋をハワイ州全域で禁止。二〇一八年には、サンゴへの有害性が指摘される物質を含んだ日焼け止めの使用を禁じる、世界初の法案が可決された。旅人を魅了する美しい自然が魅力のハワイは、世界的に見ても環境保護に特に力を入れている地域だ。

そんなハワイのマウイ島で生まれた、地球環境への優しさを追求した包装紙のブランド「Wrap Pilly(ラッピリー)」をご存じだろうか。

ブランドの生みの親はサラ・スマスさん。マウイ島随一の景勝地「ハレアカラ火山」山麓にある農業が盛んな町・クラで、夫と子どもと共に暮らしている女性だ。サラさんがラッピリーのコンセプトを思いついたのは、約六年年前。当時、彼女自身を含めて周囲の人たちは、結婚や出産ラッシュの中についた。「お祝い事のたび、プレゼントを包んでいた膨大な量の包装紙を見ては罪悪感を覚えました。同様の包装紙などのゴミがアメリカだけでも年間約四〇〇万tを超えると知り、その思いはさらに強りました。市販の包装紙の多くは、化学物質や紙以外の添加物が含まれているため、再生加工が難しいものばかりでした」。そこでサラさんが考えついたのが、簡単に手に入れやすい新聞紙を使い、彼女の父や祖父がかつて働いていた、印刷業界の伝統的な技術で作る包装紙のアイデアだった。「新聞紙は複数回リサイクルでき、容易に土へと還ります。自然由来の大豆インクで印刷されており、ほかの印刷技術より消費エネルギーも少なくて済むんですよ」。サラさんが育ったマウイ島は小さな島で、廃棄物を埋められる土地には限りがある。「私はハワイ、そして近隣のすべての地域を本来の美しさのまま、次世代に引き継いでいきたいのです」とサラさんは語る。



「Wrappily」はwrap(包装紙)とhappily(楽しく)からの造語。贈り物をする側もされる側も幸せになれるアイテムが揃う。

レゼントを包んでいた膨大な量の包装紙を見ては罪悪感を覚えました。同様の包装紙などのゴミがアメリカだけでも年間約四〇〇万tを超えると知り、その思いはさら

に強りました。市販の包装紙の多くは、化学物質や紙以外の添

加物が含まれているため、再生加工が難しいものばかりでした」。

そこでサラさんが考えついたのが、簡単に手に入れやすい新聞紙

を使い、彼女の父や祖父がかつて

働いていた、印刷業界の伝統的な

技術で作る包装紙のアイデアだっ

た。「新聞紙は複数回リサイクル

でき、容易に土へと還ります。自

然由来の大豆インクで印刷されて

おり、ほかの印刷技術より消費工

エネルギーも少なくて済むんです

よ」。サラさんが育ったマウイ島は

小さな島で、廃棄物を埋められる

土地には限りがある。「私はハワイ、

そして近隣のすべての地域を本来

の美しさのまま、次世代に引き継

いでいきたいのです」とサラさん

は語る。

こうして誕生したラッピリーの包装紙は、ハワイをはじめとする世界各地のデザイナーとコラボレーションした色とりどりの柄、新聞紙ならではの温もりある風合

いが特長で、現在は五〇種類をラ

インナップ。両面印刷で表裏が異

なる柄となっているため、それぞ

れを自由に使う楽しみもある。さ

らに毎年、数種類の新作が季節限

定で発売され、ハワイの暮らしや

自然にインスピライアされたデザ

インも多くある。

ハワイでは、自然派スーパーの「ホールフーズマーケット」や文

具店の「ホールマーク」など、二〇

カ所以上で購入できるラッピリー

の包装紙。大切な方へのハワイ土

産を、アロハのおもてなしの心と

共に込み込んで贈ってみてはいか

がだろうか。

A